

一貫教育校の広場

ニューヨーク学院
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部

幼稚園

ニューヨーク学院(高等部)の四季

● ニューヨーク学院(高等部) 国語科 教諭 坂本智美さかもとさとみ

中等部からの派遣教員として2年目。生徒係(第11学年・生徒会)として日々新鮮な業務に追われ、気付けば学年末を迎えている。本学院は米国の学校と同様、9月に新学期が始まり6月上旬に卒業式。キャンパス内は四季折々の表情に彩られ、時折リスや鹿もひよっこり出現。

自然豊かなキャンパス一帯に、昨秋ニューヨーク学院の演説館ともいべきスチューデント・センターが竣工した。これは慶應義塾ニューヨーク学院25周年記念事業の中核となるもので、抜群の音響と最先端の照明・音響技術を兼ね備えた講堂である。学院は演説の活動を勧めており、国語や英語の授業において積極的にPublic Speakingを取り入れ、祥風祭では現地校の生徒を招待した原爆劇(日本語・英語)の上演、福澤論吉研究会主催による生徒演説など、自分という人間の哲学を語る機会を多く設けている。



Athletic Day



Public Speaking

あらゆる行事を通してたくましく成長する姿を支えるのもまた喜びである。今年度、『平家物語』の世界観を視覚的教材を用いて読解する授業を行った。グループワークの際には、「法に触れなければ何をしてもよい。自由に発表してごらん」とだけ告げた。生徒たちの振り返りには「個人の能力はGPA(成績)では測れないことを知った」「友人の部屋で深夜まで作業していても思いのほか寮監が寛容」「達成感を人一倍感じた」など、寮生活ならではの発見が目立った。

Day Trip (校外学習) は年2回。

Theater Day (ミュージカル鑑賞) と見学である。今年度第11学年は「Beautiful」を鑑賞。見学行事は食文化ウォーキングツアーに参加。学年ごとに行き先は異なり、他にはブロンクス動物園や自然史博物館、リンカーンセンターがある。

三田やManhattanの大会とは違い、木々の移ろいや環境教育も身近な学院での一年間は日本以上に目まぐるしく過ぎていく。多くの生徒が寮生活のため、生徒会管轄のイベント>Welcome Party, Ice Breaker, Athletic Day, Midterm Carnival, Costume Day, Xmas Party, Prom)はほとんど週末や平日の夜に開催。宿泊行事は改めて生徒たちの多彩な才能に気付かされる機会が多い。寮生活は慣れるまで一苦労。入学当初は泣いてばかりいた生徒たちが、

また、文化交流委員主催の活動として模擬国連(Model United Nations) 参加、現地校との文化交流、ニューヨークキースの試合観戦などのイベントも目白押しである。こうした学校生活に加え、学院生の約7割が春、秋、冬のシーズンスポーツに参加。年間を通してさまざまなスポーツに触れ、また文化部との兼部によって放課後の活動も盛んに行われている。生徒諸君には、このように恵まれた環境を最大限生かした学校生活を送ってほしいと願ってやまない。